

現場実習の効果的な利用について 一就労支援事業所（就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所）からの視点一

長峯 彰子（新宿区勤労者・仕事支援センター わーくす ここ・から サービス管理責任者）

公益財団法人 新宿区勤労者・仕事支援センターのミッション

「働きたい」「社会に貢献したい」という思いをかなえ、「働き続ける」ことを応援します。

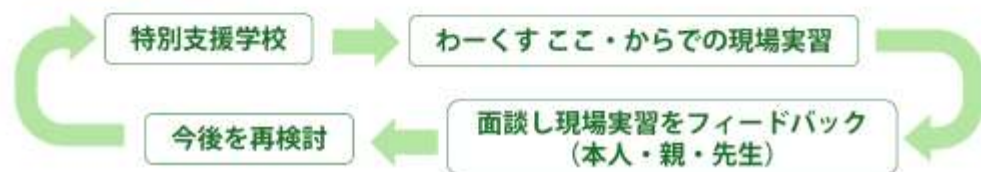
わーくす ここ・から（多機能型事業所）

働きたいを応援し、3つの事業形態を展開しています。

- 就労移行支援事業所
- 就労継続支援B型事業所
- 定着支援事業所

～わーくす ここ・からでは、特別支援学校の学生を対象に現場実習を行っています。～
（アセスメント実習を含む）

〈現場実習の流れ〉



特別支援学校における現場実習のねらい

- ・現場の仕事に直接参加し、勤労に関わる体験実習を通して働く意味を考える。
- ・実習を通して、自分の進路や適性について理解を深める。
- ・現場で働く人々との関わりを通して、望ましい人間関係や態度、習慣を養う。
- ・実習を最後までやり抜くことを通して、成就感や成功感を味わい自信をつける。

わーくす ここ・からでの現場実習

高校1年生

- ・就職に際して足りないものは何かを見極める実習。

高校2年生

- ・事業所通所か企業就労かを見極める実習。

高校3年生

- ・残り数ヶ月で学ぶことを明確にする実習。
- ・企業就労できるかどうか見極めるための実習。
- ・＜事業所→就職＞を目指すなら、どういった事業所選択して、就労への道筋をつけるかを見極める実習。

〈わーくす ここ・からでの現場実習における調査〉

卒業後の進路について、現場実習前は本人と親の意向が不一致になるケースが3割ありましたが、現場実習後は本人と親の意向が一致しています。

現場実習前

表1 実習生と親の意向

対象者	学年	本人の意向	親の意向
A	3	事業所	就職
B	3	事業所	就職
C	3	事業所	就職
D	3	事業所	事業所
E	3	事業所	事業所
F	3	事業所	事業所
G	3	事業所	事業所
H	2	就職	就職
I	1	どちらでも	どちらでも

現場実習後

表2 実習生と親の意向

対象者	学年	本人の意向	親の意向
A	3	事業所	事業所
B	3	事業所	事業所
C	3	事業所	事業所

※事業所での実習を終えて、本人の得手不得手を把握し、精神的な成長度も加味した上で、今後を考えることで、本人と親の意向が一致していきました。

〈まとめ〉

事業所を選んだ時の就職への道筋を、いくつか提示したことで、安心して進路が決められたとの御声をいただいた。本人に適した進路を提示できるよう、今後も、こういった有効でより良い実習を行っていき役立てていきたい。